



#1 37 hours late landing on Zagintos (37 時間遅れでザギントス島上陸)



アテネの空港で Wi-Fi が使えず、苦労してたどり着いた宿で最初に聞いたのが、明日朝のザギントス行きフライトはストのせいで飛ばなくなったということでした。ガイドブックにあるバスとフェリーも調べてみましたが、この時期フェリー港までのバスは運行していないと判断し、翌日の夕方の便で行くことにしました。



結局ザギントスには 1 日遅れとなりましたが、一番の目的の「難破船ビーチと青の洞窟への船旅」ツアーには参加することができました。

ちなみにこのツアーの参加者は二十数名ほどでしたが、自分一人を除いて全員中国人でした。





想定外のトラブル

① 空港 Wi-Fi も e-Sim も使えず宿と連絡が取れなかった

→空港そばのホテルに駆け込みスタッフの快諾を得て、当ホテルの Wi-Fi を使わせてもらいました。

② 現地ツアーの迎え場所が二転三転

→前日の下見がまったく役に立ちません。地図アプリ上にピンポイントで場所を指定してくるようなイメージです。連絡が取れない状態がしばらく続いたので不安でした。

③ スマホの画面が洋上で突然真っ暗に

→低消費電力モードに切り替わっただけでしたが、目が周りの明るさに慣れていたらため画面はほぼ真っ黒です。当初モバイルバッテリーに繋いでも給電せず、スマホが壊れたかと思い本当に焦りました。

④ 変換プラグの故障

→EU で主流の C タイプが、歪みのせいで所定の長さまで引き出せず使用できませんでした。ネジ式で伸ばして使うタイプは壊れやすいです。

⑤ クレジットカードが使えない

→ワンタイムパスワードが受領できないなど使えないことが何度かありました。リアルカードを含め、複数の方法で決済できるよう準備しておくことは必須だと思います。

昔は、海外旅行で命の次に大事なものはパスポートと言われていましたが、今は間違いなくスマホだと思います。ホテルの住所を書いたメモとクレジットカードさえあれば、たとえパスポートを紛失しても旅行は継続できますが、スマホがないと計画通りに旅行を進めることはほぼ不可能だと思います。

出国前にウォームスタンバイの状態クラウド上にデータを保管し、紛失や故障時に予備のスマホに切り替えるというようなサービスは難しいのでしょうか？
買い換え時に下取りに出すのではなく、予備機として有効活用する方法があるとよいと思います。